

「第32回 手賀沼エコマラソン」にて使用された紙コップを100%トイレト ペーパーへリサイクル！

～ 地域スポーツイベントから始まる循環型社会の実現とCO2排出削減への取り組み ～

コアレックスグループは、2026年10月25日（日）に開催予定の「第32回 手賀沼エコマラソン」において、給水所でランナーに提供される紙コップを全量回収し、100%再生トイレトペーパーへとリサイクルする環境保全プロジェクトを実施いたします。

本来は焼却廃棄される紙コップを資源として循環させ、CO2排出量の削減と環境負荷低減に大きく貢献します。

1. 大会概要および紙コップ回収・リサイクルプロジェクト計画

大会名称	第32回 手賀沼エコマラソン
開催日時	2026年10月25日（日）午前10:00スタート
会場・コース	柏ふるさと公園（スタート・フィニッシュ）／手賀沼周回コース（ハーフマラソン・5マイル）
回収協力	株式会社山田洋治商店
回収対象	コース沿道全7か所の給水所（道の駅しょうなん、手賀大橋下、曙橋、五本松公園、水の館等）で発生する紙コップ、および未使用紙コップ
リサイクル製品	再生トイレトペーパー

2. 昨年度の実績に基づく環境改善・CO2削減予測効果

※前年度（第31回大会・回収量560kg）の実績データを基にした、本年度取り組みの環境貢献予測数値です。

■ 想定紙コップ回収重量

約 560 kg ～ 600 kg

約9,000名のランナーが使用する紙コップ全量をパッカー車で即日回収

■ 再生トイレトペーパー生産予測

約 1,300 ～ 3,000 ロール

150m長尺タイプ：約1,306ロール／65m通常タイプ：約3,015ロール換算

■ CO2排出削減率

約 61.4 % 削減

焼却処分（約710kg排出）に比べ、リサイクル（約274kg排出）により大幅削減

■ CO2削減絶対量

約 436.2 kg-CO2 削減

焼却回避による直接的な温暖化ガス削減効果

【身近な生活に置き換えた CO2削減効果（約436kg削減の場合）】

- ・自動車走行距離：ガソリン車で約 1,570 km 走行した際のCO2排出量に相当
- ・家庭での電力消費：ドラム式洗濯乾燥機を約 567 回 使用した際のCO2排出量に相当
- ・テレビ視聴時間：液晶テレビを約 8,724 時間（約363日間）連続視聴した際の排出量に相当
- ・人間の呼吸量：人間が約 436 日間 呼吸により排出するCO2量に相当

2026年9月吉日
コアレックス信栄株式会社

3. コアレックスグループの難再生古紙リサイクル技術と運営体制

紙コップは内側が防水ポリエチレンラミネート加工されているため、従来の製紙工場では再資源化が困難で「難再生古紙」として焼却処分されるのが一般的でした。

コアレックスでは、独自の古紙再生技術を活用することで、フィルム層と紙繊維を完全に分離。使用済みの紙コップが高品質な100%再生トイレトペーパーの原料となります。

本大会では、古紙問屋の株式会社山田洋治商店と連携し、パッカー車による給水所からの即日スピーディーな回収体制を構築。一時保管の手間を削減し、安全かつ衛生的な物流・リサイクルを実現しています。

4. 「環境とスポーツの共存」を目指して（コアレックスの想い）

手賀沼エコマラソンは、豊かな自然と手賀沼の環境保全をテーマに掲げる伝統ある大会です。ランナーの一杯の給水から生まれる紙コップがトイレトペーパーへとリサイクルされる取り組みは、大会名が示す「エコ」の精神を象徴する体现です。コアレックスグループは今後も、地域自治体（柏市・我孫子市）や市民ランナーの皆様と一丸となり、持続可能な地域社会の形成とゼロ・ウェストの実現に向けた環境貢献活動を強力に推進してまいります。

【本件・取材に関するお問い合わせ先】

コアレックスグループ(コアレックス三栄株式会社・コアレックス信栄株式会社)東京営業所
〒103-0054 東京都中央区勝どき3-12-1フォアフロントタワー12階
TEL：03-6204-9560
FAX：03-6204-9569

手賀沼エコマラソン

紙コップリサイクル

SDGs Goal 12・13

CO2削減

※回収および現場運営協力：

手賀沼エコマラソン実行委員会（柏市・我孫子市）
株式会社山田洋治商店（古紙問屋）